

# 数 学

第1問 以下の空欄を適宜埋めよ.

- (1) 3つの正の数  $a$ ,  $b$ ,  $c$  の平均値が18, 分散が6であるとき,

$$a^2 + b^2 + c^2 = \boxed{\text{アイウ}}, \quad ab + bc + ca = \boxed{\text{エオカ}} \text{ である.}$$

- (2) 2次関数  $y = 2x^2 + 3x - 5$  のグラフを平行移動して得られる曲線で2点

$(0, -14)$ ,  $(2, 4)$  を通る曲線の方程式は

$$y = \boxed{\text{キ}}x^2 + \boxed{\text{ク}}x - \boxed{\text{ケコ}} \text{ である.}$$

- (3)  $\triangle ABC$  において, 辺  $AB$  上に  $AP : PB = 3 : 2$  になる点  $P$ , 辺  $AC$  の  $C$  を越える延長上に  $AC : CQ = 3 : 2$  となる点  $Q$  をとる. 直線  $PQ$  と辺  $BC$  の交

点を  $R$  とする.  $\triangle ABC$  の面積が1であるとき,  $\triangle BPR$  の面積は  $\frac{\boxed{\text{サ}}}{\boxed{\text{シ}}}$  で

ある.

- (4) 条件  $p$ ,  $q$ ,  $r$  に対して命題「 $(p \text{ または } q) \Rightarrow r$ 」が真である. このとき以下の選択肢①～⑦の命題のうち, 真であるといえるものの番号は, 小さいものから順に  $\boxed{\text{ス}}$ ,  $\boxed{\text{セ}}$ ,  $\boxed{\text{ソ}}$  である.

- ① 「 $p \Rightarrow \bar{r}$ 」
- ② 「 $r \Rightarrow \bar{q}$ 」
- ③ 「 $\bar{r} \Rightarrow \bar{p}$ 」
- ④ 「 $(p \text{ かつ } q) \Rightarrow r$ 」
- ⑤ 「 $r \Rightarrow (p \text{ または } q)$ 」
- ⑥ 「 $r \Rightarrow (p \text{ かつ } q)$ 」
- ⑦ 「 $\bar{r} \Rightarrow (\bar{p} \text{ かつ } \bar{q})$ 」

第2問 以下の空欄を適宜埋めよ.

(1)  $\triangle ABC$ において、 $\angle CAB : \angle ABC : \angle BCA = 6 : 2 : 1$ であり、外接円の半径が5である. このとき、辺BCの長さは  $\boxed{\text{ア}} \sqrt{\boxed{\text{イ}}}$  である.

(2)  $i$ を虚数単位とする.  $\left(\frac{\sqrt{5}+i}{\sqrt{3}-i}\right)^3 = \frac{-\boxed{\text{ウ}} + \sqrt{\boxed{\text{エ}}}i}{\boxed{\text{オ}}}$ .

(3) 点C(2, 0)を中心として、直線  $2x - y + 1 = 0$  に接する円の方程式は  $(x - \boxed{\text{カ}})^2 + y^2 = \boxed{\text{キ}}$  である.

(4) 関数  $f(x) = \int_{-3}^x (t^2 - 1) dt$  は  $x = -\boxed{\text{ク}}$  のとき極大値  $\frac{\boxed{\text{ケコ}}}{\boxed{\text{サ}}}$  をとり、 $x = \boxed{\text{シ}}$  のとき極小値  $\frac{\boxed{\text{スセ}}}{\boxed{\text{ソ}}}$  をとる.

**第3問** 数直線上を動く点  $P$  ははじめに原点にある。1枚のコインを投げ、表が出たら点  $P$  は正の向きに2だけ進み、裏が出たら負の向きに1だけ進む。この試行を繰り返すとき、以下の空欄を適宜埋めよ。

(1) 1回目, 2回目, 3回目の試行で点  $P$  の座標が初めて正となる確率はそれぞれ

$$\text{それぞれ } \frac{\boxed{\text{ア}}}{\boxed{\text{イ}}}, \frac{\boxed{\text{ウ}}}{\boxed{\text{エ}}}, \boxed{\text{オ}} \text{ である。}$$

(2) 4回目の試行が終わるまで点  $P$  の座標がすべて0以下となる事象の起こる場合の数は  $\boxed{\text{カ}}$  通りある。そのうち4回目の試行で点  $P$  の座標が  $-1$  である場合の数は  $\boxed{\text{キ}}$  通り,  $-4$  である場合の数は  $\boxed{\text{ク}}$  通りある。よって, 4回目の試行が終わるまで点  $P$  の座標はすべて0以下であるとき, 5回

$$\text{目の試行で点 } P \text{ の座標が初めて正になる確率は } \frac{\boxed{\text{ケ}}}{\boxed{\text{コ}}} \text{ である。}$$

(3) 5回目の試行が終わるまでに, 点  $P$  の座標が少なくとも1回以上正になる

$$\text{確率は } \frac{\boxed{\text{サ}}}{\boxed{\text{シ}}} \text{ である。}$$